

入場無料



経験に裏打ちされたデザイン見本の数々

精鋭デザイナー30人が集結!

緻密に考えられたアイデア・設計・表現に至るまでの全貌を展示

2014年 3月 14日(金)・15日(土)・16日(日)

ODPギャラリー ATCビル ITM棟10F 大阪デザイン振興プラザ内 11:00~17:00

※日曜のみ18:00まで展示 ※一部コーナーは18日まで展示しております

同時
開催

3.14
(金)

ODP展特別記念講演

「人間工学を活かした商品デザイン」ードクターグリップに続けー

主催:大阪デザイン振興プラザ(大阪市、アジア太平洋トレードセンター株式会社) / 後援: NPO法人エコデザインネットワーク / 企画・運営: ODP展実行委員会

Idea & Plan 100% DESIGN

ODP展—デザイン見本市—



緻密に考えられたアイデア・設計・表現に至るまでの全貌を展示

普段何気なく見たり触ったりしている「モノ」、そのすべてにはデザインが施されています。例えば街中に貼り出されているポスターは、通り過ぎる数秒で記憶に残るようにタイトルを大きく魅せたり、派手な印象を与えるなど…。デザインとは機能性。つまり、すべての「モノ」には考えぬかれた機能性があるんです。

プロダクト・インテリア・建築・インダストリアル・空間・パッケージ・グラフィック・WEB など、様々なジャンルが集まる大阪デザイン振興プラザのデザイナー 30 人が「モノ」が出来上がるまでの裏側を堂々展示。経験に裏打ちされたデザインの数々をご堪能ください。

3月14日(金)・15日(土) 16日(日)

※一部コーナーは18日まで展示しております

【開催場所】10F ODPギャラリー
ATCビル ITM棟10F大阪デザイン振興プラザ内

【開催時間】11:00~17:00 (日曜のみ18:00まで展示)

入場無料

ODP展特別記念講演 【参加無料】

「人間工学を活かした商品デザイン」—ドクターグリップに続け—



健康分野など学問的な研究シーズを、今後の新商品創造につなげていくためには、学と産の協働が不可欠であるが、そこにソリューションを生業とするデザイナーが参画すれば、問題点を明確にして、商品の具体的な道筋を端的に示すことが出来ます。

シーズを持つ研究者とソリューション技法を持つデザイナーが、企業の方に協働を呼びかけます。

開催日：3月14日(金)

講演会：16:00-17:30, 17:30-18:00

交流会：18:00-19:30

会場：ATCビルITM棟10F

大阪デザイン振興プラザ 多目的ルーム

ウド・エルゴ研究所 代表 広島大学医学部臨床教授 宇土 博

1949年 広島県呉市生まれ。

1979年 広島大学医学部大学院卒業。電話交換、レジ作業者を中心とした頸肩腕障害の研究で医学博士号取得。

1994年 カンサス州立大学 産業工学科 人間工学教室に留学し、人間工学の共同研究に従事。

2001年 広島大学医学部臨床教授就任。また、産業界として腰痛等の人間工学的な予防対策を行う。さらに産業保健対策の一環として、腰痛防止のボールペン Dr.Grip、腰痛予防ベルト、VDT用のアームレスト Dr.Click や腰痛予防用の自動座面傾動シート、下肢障害者のための低摩擦移動器、腰痛防止の捕果鉢 Dr.Cut、環返り促進布団 Dr.Moveの研究・開発に当たっている。

1部 16:00-17:30 講師：ウド・エルゴ研究所 代表 広島大学医学部臨床教授 宇土 博

「なぜ、医師が開発したDr.Grip(ボールペン)が、筆記具の世界を変えたのか？」

職業病を治療している医師が人間工学を駆使して仕事の改善、用具の開発、ヒット商品を生んでいます。さらに、日常生活分野でもワークデザインを活かした商品価値の具体化に向けて、企業の開発者やデザイナーとのマッチング・ワークショップを提言します。

2部 17:30-18:00 講師：(有)インターデザイン研究所 取締役 JIDA理事 上田 幸和

「商品開発におけるデザイナーの役割」 —シーズを市場価値に—

新商品開発におけるデザインプロセスとして、研究シーズ・素材シーズを活かしたコンセプト立案、諸条件整理、アイデア提案、試作等のデザイナーが担う検討内容とスケジュール、予算について説明します。



大阪デザイン振興プラザ
www.osaka-design.co.jp

559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟10階
TEL. 06-6615-5510 / FAX. 06-6615-5173



経験に裏打ちされたデザインの数々